

子ども読書活動進行管理表

※各事業の評価は年度ごとの評価になります。

連番	主管課	事業	事業	17年度		18年度		19年度		20年度		21年度		事業総括 (H17年度～H21年度)	連番				
				実施事業	評価	18年度計画/目標値	実施内容	評価	19年度計画/目標値	実施内容	評価	20年度計画/目標値	実施内容			評価	21年度計画/目標値	実施内容	評価
				計画予算額(千円)		計画予算額(千円)	事業決算額(千円)		計画予算額(千円)	事業決算額(千円)		計画予算額(千円)	事業決算額(千円)				計画予算額(千円)	事業決算額(千円)	
1	子ども家庭課 健康課 中央図書館	ブックスタート (新)	0歳から、乳児と保護者が絵本を通して楽しい時間を過ごすとともに、豊かな心を育て親子の絆を養ってもらえるよう子育てを支援するために、ブックスタート※を行います。(新規)	8月までは、前年度に引き続き、ブックスタート試行事業の「赤ちゃん絵本のついで」を実施。3課合同で計画し、6月にボランティアを募集し、ボランティアと協同でブックスタートを9月より開始した。来年度実施に向けて、会場の追加等を行った。広報を徹底するため、ちらしの配布方法、対象者へのハガキでの通知を検討した。 ブックスタート 会場 7ヶ所 実施回数 33回 参加数(1月末現在) 240組 ※(内、259.4千円はついで)	3	18年度のブックスタートは、会場を増やして実施する。ハガキでの通知を行うなど、広報の充実を図る。17年度、18年度前半の状況を分析し、年度後半に実施率向上のための会場、実施回数や広報の見直しを行う。渡す絵本のタイトルの見直しを行う。 1,500人分要求。目標値：実施率を出生予想人数(2,300人)の50%(=1,150人)以上	4	参加率をあげるために、会場・日程の見直しや、広報の充実を行った。5月末からはブックスタート対象年齢となる全ての乳児に案内ハガキを送付し、事業を周知させた。また、渡す絵本の見直し作業として、保育園での候補絵本の実演、ブックスタートボランティアによる投票、児童率担当職員による検討などを行った。主管課による連絡会議を定期的に開催し、事業の充実を図った。4回開催。 開催数 43回 会場数 9箇所 参加数 915組(2,219人) 配布絵本数 915冊 実施率 41.3%(出生数2,215人)	4	事業のフォローアップとして、0～3歳向けの絵本を市内保育園・子育て支援センター・保健センターに315冊配布した。また、各図書館で乳幼児向けおはなし会を行った。 参加申込みがしやすいよう、電話受付だけでなくホームページから24時間申込みが行えるようにした。開催日に参加できない方のために、各図書館窓口や移動図書館の巡回先でもブックスタートバックが受け取れるようにした。 配布絵本に『びよん』(ポプラ社)を追加した。 開催数 42回 会場数 7箇所 参加数 986組(2,387人) 配布絵本数 986冊 実施率 44.6%(出生数2,211人)	4	参加率をあげるために、開催日・会場の見直しを行う。フォローアップとして、乳幼児向けおはなし会の充実をはかる。ブックスタート事業の広報を拡充する。ボランティアの研修を行う。 目標値：実施率50%以上	4	参加率をあげるために、会場や実施方法、申込方法の見直しを行う。フォローアップとして、各施設の絵本を充実させる。配布絵本の変更を行い、選択の幅を広げた。実績 開催数 43回 会場数 6箇所 参加数 1,016組(2,482人) 配布絵本数 1,016冊 実施率 47.3%(出生数2,121人)	4	参加率をあげるために、会場や実施方法、申込方法の見直しを行う。フォローアップとして、各施設の絵本を充実させる。配布絵本の変更を行い、選択の幅を広げた。実績 開催数 43回 会場数 6箇所 参加数 1,061組(2,617人) 配布絵本数 1,061冊 参加率 49.3%(出生数2,154人)	4	参加率も目標の50%にわずかに達しなかったが、参加者の満足度はほぼ100%で、ボランティアの満足度も非常に高く、0歳児の登録数が5年間で3.5倍増となり、児童図書館の貸出点数も15%増加した。子どもの読書に関して最初の一步として成果があった。参加率を向上させる。	1
2	中央図書館	乳幼児と保護者を対象にしたおはなし会(新)	ブックスタートのフォローアップとして、乳幼児と保護者を対象におはなし会を行います。(新規) (連番8と関連)	フォローアップのための乳幼児向け図書を市内各図書館(移動図書館含む)で購入。わらべうた・手遊びの会を2回実施した。	4	乳幼児対象のおはなし会実施に向け、内容等の検討を行う。(エフロンシアター、指人形の購入も検討する。) 「わらべうた・手遊びの会」中央館での実施継続。「わらべうた・手遊びの会」の実施内容・実施館・回数の検討。フォローアップ用図書を購入する。	4	「わらべうた・手遊びの会」継続実施。 乳幼児向けおはなし会の実施に向け、職員研修・ボランティアの募集を行う。フォローアップ用図書を購入する。	4	「わらべうた・手遊びの会」を2回実施した。 乳幼児向けおはなし会を全館で行った。 月一回 中央館2月 北・西・南館3月 「赤ちゃん文庫」充実を計るためフォローアップ用図書を購入。	4	「わらべうた・手遊びの会」を2回実施した。 乳幼児向けおはなし会を全館で行った。 月一回 中央館・北館・西館・南館 「赤ちゃん文庫」充実を計るためフォローアップ用図書を購入。	4	「わらべうた・手遊びの会」・「乳幼児向けおはなし会」を継続して実施。 フォローアップ用図書を購入する。	4	「わらべうた手遊びの会」を1回実施した。乳幼児向けおはなし会を全館で実施した。42回 1206人の参加者があった。	4	平成19年度から3年間で参加者が平成19年度185人から平成21年度1206人へと6.5倍伸びた。定着してきており、参加者増、内容の充実を図っていく。	2
3	社会教育課	家庭教育学級等での保護者への啓発	公民館での家庭教育学級等の各種講座・研修会の場や交流会の機会の提供を通して、子どもの読書活動の重要性や読み聞かせなどの方法について、保護者に周知を図ります。	公民館事業の家庭教育学級で読み聞かせの大切さを伝える事業を盛り込んだ(金田、旭北、松原公民館)	3	家庭教育学級等の公民館事業で読み聞かせの大切さや本の重要性を伝える事業を盛り込み、PTAの研修会にも盛り込む。 【目標】公民館4館、PTA研修会1回	4	家庭教育学級等の公民館事業で読み聞かせの大切さや本の重要性を伝える事業を盛り込み、PTAの研修会にも盛り込む。 【目標】公民館4館、PTA研修会1回	4	家庭教育学級等の公民館事業で読み聞かせの大切さや本の重要性を伝える事業を盛り込み、PTAの研修会にも盛り込む。 【目標】公民館4館、PTA研修会1回	4	家庭教育学級等の公民館事業で読み聞かせの大切さや本の重要性を伝える事業を盛り込み、PTAの研修会にも盛り込む。 【目標】公民館4館、PTA研修会1回	4	地区公民館自主事業におけるお話し会などの実施を通して、保護者に読書活動の大切さや本の重要性を伝えた。(11公民館)	4	今後も継続して家庭教育学級等の事業を通して保護者に読書活動の重要性を伝えていく。実施館についてもより多くの館で実施するよう働きかける。	3		
4	各学校指導室	学校だよりや学校図書館だよりを通じた保護者への啓発	学校だよりや学校図書館だよりなどを通して、保護者に対し、子どもの読書活動の重要性を啓発します。	継続して実施。	4	継続して実施。	4	継続して実施。	4	学校だより、学校図書館だより等を通じた保護者への啓発を実施した。	4	学校だより、学校図書館だより等を通じた保護者への啓発を実施した。	4	学校だより、学校図書館だより等を通じた保護者への啓発を実施した。	4	学校だよりや学校図書館だより等を通して、保護者等に対し、子どもの読書活動の重要性を啓発した。	4		
5	中央図書館 関係各課	施設における啓発小冊子等の配布	図書館で発行しているおすすめ絵本を紹介した小冊子等を公民館や子どもの家、保健センター等で配布します。	(連番12と関連) 配布先、部数については推進会議専門部会にはかった。	4	配布先・配布部数と在庫の様子を見て、作成・印刷・配布を行う予定。	4	配布先・配布部数と在庫の様子を見て、配付した。	4	継続して実施。専門部会で配布先、部数等の見直し。	4	継続して実施。専門部会で配布先、部数等の見直し。	4	継続して実施。専門部会で配布先、部数等の見直し。	4	継続して実施していくが、配布部数等引き続き調整をおこない、効果的な発行を目指す。	5		
6	社会教育課	広報紙等での優れた取組みや特色ある事例の紹介(新)	家庭教育冊子を配布するとともに、広報紙等で各学校園におけるPTAサークルやボランティアグループによる優れた取組みや特色ある実践事例を広く周知します。(新規)	読書の大切さを記載した家庭教育冊子を配布した。県のモデル地区(神田)の広報誌の用紙提供(4回)をした。	4	ホームページ等を活用し、市のモデル地区(4地区)の取組みを紹介する。PTAの研修時に取組み内容を記載したチラシを配布した。	4	広報ひらつか等を活用し、市の推進地区(4地区)の取組みを紹介する。PTAの研修時に取組み内容を記載したチラシを配布する。	4	ホームページ等を活用し、各推進協議会の取組みを紹介する。PTAの研修時に取組み内容を記載したチラシを配布する。	4	ホームページ等を活用し、各推進協議会の取組みを紹介する。PTAの研修時に取組み内容を記載したチラシを配布する。	4	ホームページ等を活用し、子ども読書活動推進のHPを作成し、各中学校区推進協議会の取組の紹介をした。	4	ホームページや主催事業の中で各中学校区の取組の紹介は行えたが、PTAなどの団体にチラシの配布は5年間を通して実施できなかった。関係団体への紹介の方法については、どの様な形であれば実施が可能か調整・検討が必要。	6		

- 【評価基準】
 5：計画を上回って進行
 4：計画通り進行
 3：計画より遅れているが、目標達成は可能
 2：計画より大幅に遅れが生じているため、目標達成は困難
 1：事業未着手

子ども読書活動進行管理表

※各事業の評価は年度ごとの評価になります。

連番	主管課	事業	事業	17年度		18年度		19年度		20年度		21年度		事業総括 (H17年度~H21年度)	連番										
				実施事業	評価	18年度計画/目標値	実施内容	評価	19年度計画/目標値	実施内容	評価	20年度計画/目標値	実施内容			評価	21年度計画/目標値	実施内容	評価						
				計画予算額(千円)		計画予算額(千円)	事業決算額(千円)		計画予算額(千円)	事業決算額(千円)		計画予算額(千円)	事業決算額(千円)				計画予算額(千円)	事業決算額(千円)							
7	中央図書館	原作の本を併せて紹介する映画会や人形劇	子どもが作品に直に接するとともに、その原作などの関連した本を併せて紹介することで、幼児期から図書館や本に親しんでもらうために、定期的におはなし会や映画会・人形劇を実施します。	映画会：中央館、西館で実施した。 中央館 毎週土・日曜日 西館 第1・第3水曜日 人形劇：各館で実施した。 中央館 2回 北館・西館・南館 1回 おはなし会：各館で実施した。 中央館 毎週水曜日(第5週を除く) 北館・西館 第2・第4水曜日 南館 第1・第3水曜日	4	継続して実施。	映画会：中央館、西館で実施した。 中央館 毎週土・日曜日 西館 第1・第3水曜日、 人形劇：各館で実施した。 中央館 2回 北館・西館・南館 1回 おはなし会：各館で実施した。 中央館 毎週水曜日(第5週も実施) 北館・西館 第2・第4水曜日 南館 第1・第3水曜日	4	継続して実施。 中央館：毎週日曜日以外に小・中学校の長期休みに「子ども映画会週間」を実施。 広報の充実。	4	継続して実施。 実施内容等について見直し。 ボランティアとの協働映画会を実施予定	4	継続して実施。 映画会：中央館、西館で実施した。 中央館：毎週日曜日と、小・中学校の長期休みに「子ども映画会週間」、 「子ども読書の日」付近の日に映画会を実施した。また、広報映画会を実施した(4回)。 西館 第1水曜日 人形劇：各館で実施した。 中央館・北館・西館・南館 1回 おはなし会：各館で実施した。 中央館 毎週水曜日 北館・西館 第2・第4水曜日 南館 第1・第3水曜日	4	継続して実施。 映画会：中央館・西館で実施した。 実績 中央館は毎週日曜日と小・中学校の長期休暇時に66回 参加者1898人 西館は11回 参加者129人 人形劇は各館で実施し、8回公演 参加者717人 お話しは各館で111回、参加者1533人	4	各種関連事業を実施する上で、原作の本の紹介等より子どもと本を結びつけることをより充実させる。	7							
8	中央図書館	子どもの発達段階に応じたおはなし会の拡充(新)	参加者により楽しんでいただけよう乳幼児向けおはなし会など、子どもの発達段階に応じたおはなし会を行います。(新規) (連番2と関連)	フォローアップのための乳幼児向け図書を市内各図書館(移動図書館含む)で購入。わらべうた・手遊びの会を2回実施した。	4	乳幼児対象のおはなし会実施に向け、内容等の検討を行う。(エプロンシアター、指人形の購入も検討する。) 「わらべうた・手遊びの会」中央館での実施継続。「わらべうた・手遊びの会」の実施内容・実施館・回数の検討。 フォローアップ用図書を購入する。	4	「わらべうた・手遊びの会」継続実施。 乳幼児向けおはなし会の実施に向け、職員研修・ボランティアの募集を予定。 フォローアップ用図書を購入する。	4	「わらべうた・手遊びの会」を2回実施した。 乳幼児向けおはなし会を全館で行った。 月一回 中央館2月 北・西・南館3月 「赤ちゃん文庫」充実を計るためフォローアップ用図書を購入。	4	「わらべうた・手遊びの会」を2回実施した。 乳幼児向けおはなし会を全館で行った。 月一回 中央館・北館・西館・南館 「赤ちゃん文庫」充実を計るためフォローアップ用図書を購入。	4	「乳幼児向けおはなし会」を継続して実施。 実績 乳幼児向けおはなし会 全館 42回実施 参加者1206人 幼児向けおはなし会 全館 111回実施 参加者1533人	4	今後とも内容の充実を図っていく。	8								
9	中央図書館	図書館で不用になった本の学校等への提供	本を有効に活用し、読書環境を支える一助とするため、本のリサイクルを行い、図書館で不用になった本を学校等の団体や市民に提供します。	市内公私立保育園、公私立幼稚園、公民館、小学校を対象に、2月に実施した。 配布施設 48ヶ所 配布冊数 6,309冊	4	連番45の専門部会での検討結果によっては今後の実施内容に変更の可能性あり。	市内公私立保育園、公私立幼稚園、公民館、小学校を対象に、2月に実施した。 配布施設 28ヶ所 配布冊数 3308冊	4	実施予定。	5	実施予定	5	実施予定(1回)	各校に提供できる冊数が用意できなかったため、実施しなかった。 22年度に向け収集中。	2	子どもの読書環境整備に役立つよう不要本の有効利用を図っていく。しかし、毎年実施するには不要本の確保が難しくなっている。	9								
10	中央図書館	移動図書館の巡回ルートの拡充や新たなサービスの提供	巡回ルートの拡充を図るとともに児童施設の訪問など、移動図書館の新たなサービスの提供に努めます。	来年度実施に向けてサービスポイントを見直した。公立幼稚園(4園)を対象に出前図書館を試行的に実施した。 出前図書館用に資料を購入した。 貸出点数(～平成18年1月末) 合計：27,000点 貸出回数：約24,500点 施設訪問・文庫・出前図書館等：約2,500点	4	引き続きサービスポイント等の見直しを行う(変更するステーションの場所によっては駐車場使用謝礼が必要となる)。 目標：7ヶ所の貸出と出前図書館・施設訪問での貸出点数、合計3万3千点 児童施設への訪問事業を本格的に実施する。 団体貸出用図書の購入を増やす。	引き続きサービスポイント開設時間等の見直しを行う。 実績：貸出点数合計33,300点。 ステーション 29,764点 出前図書館・施設訪問 3,529点	4	引き続きサービスポイント等の見直し。 開設時間等の見直しを行った。 実績 ステーションでの個人貸出 34664点 出前図書館等団体貸出 7647点 貸出点数合計 42311点	4	引き続きサービスポイント等の見直し。 実績 ステーションでの個人貸出 36449点 出前図書館等団体貸出 7549点 貸出点数合計 43998点	4	引き続きサービスポイント等の見直し。 実績 ステーションでの貸出 36114点、出前図書館等団体貸出 7106点、貸出点数合計 43220点。	4	移動図書館の巡回と出前図書館事業の内容の充実を図るため、時間の割り振り等、巡回先の施設と協議を続けていく。	4	10 700	10 1,460	10 5,045	10 4,774	10 4,773	700 4,260	700 4,260	630 3,806	620 3,806
11	中央図書館	1日図書館員などの職場体験の受け入れ	子どもたちが実際に図書館業務を体験することによって、図書館に対する理解や関心を深めるとともに本に対する親しみを養ってもらうために、小学生を対象とした1日図書館員などの職場体験・見学の受入を行います。 (連番46との関連あり)	小学生対象の1日図書館員を各館で実施した。 中央館 8回 北館、西館、南館 6回 参加人数(全館) 203人 また図書館見学、職場体験の受入れを随時行った。	4	継続して実施。 1日図書館員の実施方法・内容の見直し。	小学生対象の夏休み1日図書館員を各館で実施した。 中央館 8回 北館、西館、南館 各6回 参加人数(全館) 193人 また図書館見学、職場体験の受入れを随時行った。	4	継続して実施。	4	継続して実施。	4	継続して実施。 小学生対象の夏休み1日図書館員を各館で実施した。 中央館 8回 北館、西館、南館 各6回 参加人数(全館) 234人 また図書館見学、職場体験の受入れを随時行った。	4	職場体験等、内容・受付体制の見直しを行い、図書館事業とするが検討する。 (連番46と同)	4	1日図書館員を全館で実施した。 実績 全館 26回実施、参加者218人 図書館見学、職場体験の受入を随時行った。	4	1日図書館員の募集者数に対して応募者数の多さの解消を図ってきたが、継続して検討していく。また、職場体験においては、学校と連携しながら継続して受入を行っていく。	11					

- 【評価基準】
 5：計画を上回って進行
 4：計画通り進行
 3：計画より遅れているが、目標達成は可能
 2：計画より大幅に遅れが生じているため、目標達成は困難
 1：事業未着手

子ども読書活動進行管理表

※各事業の評価は年度ごとの評価になります。

連番	主管課	事業	事業	17年度		18年度		19年度		20年度		21年度		事業総括 (H17年度～H21年度)	連番				
				実施事業	評価	18年度計画/目標値	実施内容	評価	19年度計画/目標値	実施内容	評価	20年度計画/目標値	実施内容			評価	21年度計画/目標値	実施内容	評価
				計画予算額(千円)		計画予算額(千円)	事業決算額(千円)		計画予算額(千円)	事業決算額(千円)		計画予算額(千円)	事業決算額(千円)				計画予算額(千円)	事業決算額(千円)	
12	中央図書館	子ども向け図書館機関紙やブックリストの充実	子ども向けの図書館概要「こどもらぼーる」や図書館機関紙「こどもきいぶ」、それぞれテーマごとの本を集めたブックリスト「こんな本みつけた」を発行するとともに、内容を充実させます。 (配布について連番5と関連)	「こどもきいぶ」2006年春号を作成した。500部 配布先：市内各図書館、県内公共図書館、市内公立小学校、来館者等	4	「こどもきいぶ」12月作成予定。500部 「こどもらぼーる」6月作成予定。3,000部	「こどもきいぶ」2007年7号を作成。500部 子ども向け図書館利用案内「ひらつかしとしよかんへようこそ!」を作成。900部 配布先：市内各図書館、県内公共図書館、来館者等 「こどもらぼーる」は発行せず。	4	「こどもきいぶ」作成。3,000部 「こどもらぼーる」作成。見やすいもの、興味をひくもの(カラーなどで)を作成する。3,000部	4	「こどもきいぶ」作成。500部 「こどもきいぶ」特別版作成。500部 「本をさがしてみよう～しらべものヒント～」作成。1,000部 配布先：市内各図書館、県内公共図書館、来館者等	4	「こどもきいぶ」作成。 「こどもきいぶ」400部作成。 「こどもきいぶ」いわさきちひろ特集号 500部作成。 ブックリスト「あかちゃんにおすすめのえほん」改訂版を作成。	5	図書館事業の広報及び利用促進のため、今後も検討していく。	12			
			6	25	7	14	13	19	6	7	7								
13	中央図書館	読み聞かせなどの養成講座の開催やボランティアグループへの支援	絵本の読み聞かせなどの技能取得・向上を目的とした養成講座を行うとともに、ボランティアによる子どもの読書推進活動や学校図書館活動を支援します。 (連番15と関連)	読み語り講習会(3日) 24人、 わらべうた講習会(2日) 27人、 ストーリーテリング講習会(1日) 11人を各1回実施した。	4	継続して実施。 講習会のサイクルの見直し・確認(長期計画を立てる)。	読み語り講習会(3日) 24人、 わらべうた講習会(2日) 27人、 ストーリーテリング講習会(1日) 11人を各1回実施した。	4	継続して実施。 連番15と関連あり。 講習会受講者に活動の場を紹介することについて検討。	4	読み語り講習会(2日) 25人、 わらべうた講習会(2日) 27人、 紙芝居実演講習会(2日) 14人を各1回実施した。	4	継続して実施。 市内で活動するボランティア(学校・公民館等の活動を中心に)への支援(本のバックアップ等)について検討。	4	乳幼児向け読み語り講習会 2日 37人、 小学生向け読み語り講習会 2日 54人、 パネルシアター講習会 2回 39人を実施した。 学校図書ボランティアを対象の講習会は7校で実施した。	4	講習会への参加希望者はほぼ受入可能となっている。講習会受講後のボランティア受入施設は子ども読書活動推進協議会等の活躍により拡充させる。	13	
			180	180	180	180	180	180	0	180	180								
14	中央図書館	読書相談や調べ物サービスの充実	多様化する読書相談や調べ物の的確に対応できるように、サービスの充実をめざします。 (連番32、26と関連)	資料の充実を図った。職員の質の向上を目指し、各自が外部のレファレンス研修(児童書)に参加し、他の職員と共有するため、資料の回覧を行った。今年度はそこで得たものを共有するための報告について効果的な方法や場が設けられなかったため、来年度共有・利用方法について検討する。(21年度まで継続)	3	資料の充実を図ることに加え、職員の質の向上を目指し、各自が外部のレファレンス研修(児童書)に参加し、そこで得たものを共有する。各担当職員に報告する方法等を検討する。(21年度まで継続)	資料の充実を図ることに加え、職員の質の向上を目指し、各自が外部のレファレンス研修(児童書)に参加し、そこで得たものを児童担当職員に報告した。(21年度まで継続)	4	継続して実施。	4	資料の充実を図ることに加え、職員の質の向上を目指し、各自が外部のレファレンス研修(児童書)に参加し、そこで得たものを児童担当職員に報告した。(21年度まで継続)	4	資料の充実を図ることに加え、職員の質の向上を目指し、各自が外部のレファレンス研修(児童書)に参加し、そこで得たものを児童担当職員に報告し共有した。	4	読書活動の推進に伴い、個人の読書相談のみならず、ボランティア等からの相談が増加している。研修等で職員の資質の向上を図り、サービスを高めていく。	14			
			0	0	0	0	0	0	0	0	0								
15	中央図書館	様々な働きかけ(サービス)についてのボランティアとの協働	子どもが読書を楽しむことができるよう、様々な働きかけ(サービス)についてボランティアとの協働を図ります。	おはなし会ボランティア(中央館、北館、西館、南館で活動)。ブックスタートボランティアを今年度募集し、活動を開始した。資料の検索方法を知ってもらったり、バックヤード見学を行う「大人向け一日図書館員(仮称)」を今年度試行予定したが未実施。	3	おはなし会ボランティア(中央館、北館、西館、南館で活動)。ブックスタートボランティアを今年度募集する。資料の検索方法を知ってもらったり、バックヤード見学を行う「大人向け一日図書館員(仮称)」を今年度試行予定。	おはなし会ボランティア(中央館、北館、西館、南館で活動)。ブックスタートボランティアを追加募集した。「大人向け一日図書館員(仮称)」未実施。	3	連番13と連動して、ボランティア組織化の検討。	3	おはなし会ボランティア(中央館、北館、西館、南館で活動)。ブックスタートボランティアを追加募集し、ブックスタート会場で活動	4	ボランティアの活動の場の整備。	4	おはなし会ボランティアとブックスタートボランティアは全館で活動中。映画会ボランティアは、中央館で活動中。	4	市民ボランティアが積極的に活動している。事務局は行政が行い、実際の活動はボランティアと行政の協働で行われている。市民との協働を推進していく。	15	
			148	176	142	180	156	140	120	70	52								
16	青少年課	青少年会館での読み聞かせボランティア養成講座(新)	青少年会館において、読み聞かせボランティアを養成する講座を開催します。(新規)	12月に読み聞かせボランティア養成講座を開催した。参加者は9名。	5	5月に読み聞かせボランティア養成講座を開催する。定員20名。	5～6月に読み聞かせボランティア養成講座を開催した。参加者16名。	4	4月にかけて読み聞かせボランティア養成講座を開催する。定員20名。	4	4月に読み聞かせボランティア養成講座を開催した。参加者20名。	4	6～7月にかけて読み聞かせボランティア養成講座を開催する。定員20名。	4	6～7月にかけて読み聞かせボランティア養成講座を開催した。参加者は18名。	4	幅広い年齢層からの申し込みがあった。また、初心者向けの講座ではあったが、すでに市内でボランティア活動をしている参加者からも新しい発見があったと好評であった。講座実施後のアンケートでは、今後の活動について意欲的なコメントが毎年多数あった。	16	
			60	90	90	90	90	90	90	90	90								
17	青少年課	子どもの家でのおはなし会(新)	子どもの家上記講座修了者を派遣し、おはなし会を行います。(新規)	前年度講座受講者6名が2つの子どもの家でおはなし会を実施した。また、この参加者を中心とした読み聞かせサークルが発足し、定期的に子どもの家でおはなし会をしていくこととなった。また、本年度受講者も3名が子どもの家でおはなし会を行った。	5	講座修了後、順次各子どもの家でおはなし会を実施して行く。	8月に大野野子どもの家でおはなし会を実施した。参加者6名。また、読み聞かせサークルが、みなと・大野野子どもの家で月1回定期的におはなし会を行った。	4	講座修了後、順次各子どもの家でおはなし会を実施して行く。	4	7月にみなと子どもの家で、8月に大野野子どもの家でおはなし会を実施した。参加者はみなとが2名、大野野が4名だった。また、読み聞かせサークルが、毎月、子どもの家で定期的におはなし会を実施した。	4	講座修了後、順次各子どもの家でおはなし会を実施して行く。	4	講座修了生のうち希望者2名が8月に山城子どもの家でおはなし会を実施した。また、読み聞かせサークルの活動や、子どもの家の自主事業として各館で定期的に実施した。	4	講座修了生は時間をかけて絵本を選び自宅で読み聞かせの練習をするなど、おはなし会の準備を積極的に参加していた。終了生が読み聞かせを体験する場として、また、子どもの家を利用している児童・保護者にとっても有意義な時間となっていた。	17	
			0	0	0	0	0	0	0	0	0								

- 【評価基準】
 5：計画を上回って進行
 4：計画通り進行
 3：計画より遅れているが、目標達成は可能
 2：計画より大幅に遅れが生じているため、目標達成は困難
 1：事業未着手

子ども読書活動進行管理表

※各事業の評価は年度ごとの評価になります。

連番	主管課	事業	事業	17年度		18年度		19年度		20年度		21年度		事業総括 (H17年度～H21年度)	連番				
				実施事業	評価	18年度計画/目標値	実施内容	評価	19年度計画/目標値	実施内容	評価	20年度計画/目標値	実施内容			評価	21年度計画/目標値	実施内容	評価
				計画予算額(千円)		計画予算額(千円)	事業決算額(千円)		計画予算額(千円)	事業決算額(千円)		計画予算額(千円)	事業決算額(千円)				計画予算額(千円)	事業決算額(千円)	
18	社会教育課	公民館利用者との連携による本のリサイクルボックス事業(新)	公民館において、利用者との連携により、不用になった本の貸し借りなど「本のリサイクルボックス(仮称)」事業の仕組みづくりをめざします。(新規)	図書室や図書コーナーのある館については、利用者等と改善に向けた連携を図るとともに、地域の方に不用になった本の提供を呼びかけた。また、公民館だけでなく、身近な読書情報を掲載した館もあった。	3	それぞれ館の実情に応じた取り組みを推進し、読書環境の改善に努める。	それぞれ館の実情に応じた取り組みを推進し、読書環境の改善に努めた。市のモデル地区(港)と連携し、不用になった本の回収を行った。	3	それぞれ館の実情に応じた取り組みを推進し、読書環境の改善に努める。	それぞれ館の実情に応じた取り組みを推進し、読書環境の改善に努めた。また、公民館だよりを通じ、不用になった本の提供を呼びかけた。	4	それぞれ館の実情に応じた取り組みを推進し、読書環境の改善に努める。	それぞれ館の実情に応じた取り組みを推進し、読書環境の改善に努めた。また、花水公民館においてリサイクルボックスを設置した他、推進協議会を通して市内信用金庫にもリサイクルボックスの設置依頼をした。	4	それぞれ館の実情に応じた取り組みを推進し、読書環境の改善に努める。	それぞれ館の実情に応じた取り組みを推進し、読書環境の改善に努めた。また、昨年設置分を含め地区公民館3館において、リサイクルボックスを設置した。	4	現状3館においてリサイクルボックスを設置したが、設置後の維持・管理の面で誰が行うかといった課題がある。第二次推進計画の目標値を達成するためにも、地域に協力を求めるなどの方法で課題をクリアしていきたい。	18
0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
19	社会教育課 中央図書館	病院や学童保育所等の事業者への協力(新)	公共施設に限らず病院や学童保育所、店舗のキッズルームなど、子どもが訪れる場所に、本がいつでもある環境が整備できるよう事業者等に協力を求めます。(新規)	・第一段階として、各事業者の窓口となる庁内関係課に協力依頼をした。	3	子どもの読書環境の大切さを積極的にPRし、事業者等に趣旨を理解していただき、協力していただけるよう継続的な依頼を行う。	引き続き、各事業者の窓口となる庁内関係課に協力依頼をした。	3	子どもの読書環境の大切さを積極的にPRし、事業者等に趣旨を理解していただき、協力していただけるよう継続的な依頼を行う。	引き続き、各事業者の窓口となる庁内関係課に協力依頼をした。	3	子どもの読書環境の大切さを積極的にPRし、事業者等に趣旨を理解していただき、協力していただけるよう継続的な依頼を行う。	推進協議会により市内信用金庫にリサイクルボックス設置された。	3	子どもの読書環境の大切さを積極的にPRし、事業者等に趣旨を理解していただき、協力していただけるよう継続的な依頼を行う。	推進協議会により市内信用金庫に設置されたリサイクルボックスが管理されている。	3	各事業者の窓口となる庁内関係課に協力依頼を行ってきた他、推進協議会によって市内信用金庫にリサイクルボックスが設置された。	19
0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
20	各学校指導室	読書活動計画の作成、朝の読書や休み時間中等の読書(新)	各学校に応じた読書活動計画を作成し、読書週間や月間を設け、朝や休み時間中の読書、学級活動やホームルームでの読書などを実施します。(新規)	多くの学校で読書活動計画を作成し、朝の読書活動等を積極的に推進した。	4	各学校における読書活動計画の作成及び朝の読書を積極的に推進していく。	多くの学校で読書活動計画を作成し、朝の読書活動等を積極的に推進した。	4	各学校における読書活動計画の作成及び朝の読書を積極的に推進していく。	多くの学校で読書活動計画の作成及び朝の読書を積極的に推進した。	4	各学校における読書活動計画の作成及び朝の読書を積極的に推進していく。	多くの学校で読書活動計画の作成及び朝の読書活動等を積極的に推進した。	4	各学校における読書活動計画の作成及び朝の読書活動等を積極的に推進した。	多くの学校で読書活動計画を作成し、朝の読書活動等を積極的に推進した。	4	各学校に応じた読書活動計画を作成し、読書週間や朝の読書活動等を積極的に推進した。	20
0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
21	各学校指導室	研修活動の充実や読書指導の充実(新)	校内における子どもの読書活動に関する研修活動の充実を促します。また、小・中学校の関係研究会と連携し、読書指導に関する研究・実践や学校図書館の活用方法のモデル的な取組の紹介等を行うことにより、学校図書館や図書館を活用した読書指導の充実を図ります。(新規)	小学校の図書館教育委員会や中学校の学校図書部会ではテーマを設け、年間計画を立てて取り組んだ。また、教育課程実践研究会でも読書活動を取り上げ、子どもたちの自主的、意欲的な読書活動の推進に向けた実践研究を行った。	4	小学校の図書館教育委員会や中学校の学校図書部会ではテーマを設け、年間計画を立てて取り組んだ。また、子どもたちの学習や読書活動を充実させるため、学校司書が配置された小学校4校を研究モデル校とし、学校図書館の活用を推進した。	小学校の図書館教育委員会や中学校の学校図書部会ではテーマを設け、年間計画を立てて取り組んだ。また、小学校教育研究会図書館教育委員会や中学校教育研究会学校図書部会ではテーマを設け、年間計画を立てて取り組み、各学校での研修活動や読書指導等に生かした。また、学校司書が配置された20校を中心に、学校図書館の活用を推進し、子どもたちの学習や読書活動の充実を図った。	4	小学校の図書館教育委員会や中学校の学校図書部会ではテーマを設け、年間計画を立てて取り組み、各学校での研修活動や読書指導等に生かした。また、学校司書が配置された20校を中心に、学校図書館の活用を推進し、子どもたちの学習や読書活動の充実を図った。	小学校教育研究会図書館教育委員会や中学校教育研究会学校図書部会ではテーマを設け、年間計画を立てて取り組み、各学校での研修活動や読書指導等に生かした。また、学校司書が配置された20校を中心に、学校図書館の活用を推進し、子どもたちの学習や読書活動の充実を図った。	4	小学校教育研究会図書館教育委員会や中学校教育研究会学校図書部会ではテーマを設け、年間計画を立てて取り組み、各学校での研修活動や読書指導等に生かした。また、学校司書が配置された24校を中心に、学校図書館の活用を推進し、子どもたちの学習や読書活動の充実を図った。	4	小学校教育研究会図書館教育委員会や中学校教育研究会学校図書部会ではテーマを設け、年間計画を立てて取り組み、各学校での研修活動や読書指導等に生かした。また、学校司書が配置された24校を中心に、学校図書館の活用を推進し、子どもたちの学習や読書活動の充実を図った。	4	校内における子どもの読書活動に関する研修活動の充実を図るため、小学校教育研究会図書館教育委員会や中学校教育研究会学校図書部会ではテーマを設け、年間計画を立てて取り組み、各学校での研修活動や読書指導等に生かした。また、学校司書が配置された24校を中心に、学校図書館の活用を推進し、子どもたちの学習や読書活動の充実を図った。	4	校内における子どもの読書活動に関する研修活動の充実を図るため、小学校教育研究会図書館教育委員会や中学校教育研究会学校図書部会ではテーマを設け、年間計画を立てて取り組み、各学校での研修活動や読書指導等に生かした。また、学校司書が配置された24校を中心に、学校図書館の活用を推進し、子どもたちの学習や読書活動の充実を図った。	21
0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
22	各学校社会教育課	交流会や研修会を通じた図書ボランティア活動の充実	図書ボランティアグループをはじめ地域の様々な方々との連携を図りながら、読み聞かせやブックトークやストーリー・テリング※などを一層積極的に取り入れるよう促すとともに、交流会や研修会を通じてそれら多彩な活動を全市的な取組みに発展するよう促します。(新規)	・県のモデル地区(神田)の取組みの中で、同様の内容を実施する計画になっていたため、バックアップするとともに、他地区への展開を考察した。	4	市のモデル地区(4地区)取組みの中で、交流会や研修会を通じ、多彩な活動を全市的な取組みに発展できるよう促す。	読書講演会の中でモデル地区の活動報告を行い、多彩な活動を全市的な取組みに発展できるよう促した。	4	推進地区の取組みの中で、交流会や研修会を通じ、多彩な活動を全市的な取組みに発展できるよう促す。	各中学校区の協議会において、ボランティアのスキルアップのための講習会や研修会が開催された。また、協議会の代表者会議を数回開催し、多彩な活動について情報の共有化が図られた。	4	推進地区の取組みの中で、交流会や研修会を通じ、多彩な活動を全市的な取組みに発展できるよう促す。	各中学校区の協議会において、ボランティアのスキルアップのための講習会や研修会が開催された。また、協議会の代表者会議を3回開催し、情報の共有化が図られた。	4	各中学校区協議会の取組みの中で、交流会や研修会を通じ、多彩な活動を全市的な取組みに発展できるよう促す。	各中学校区の協議会において、ボランティアのスキルアップのための講習会や研修会が開催された。また、代表者会議にて情報の共有化が図られた。	4	各中学校区読書活動推進協議会において、ボランティアのスキルアップのための取組みが行われている。図書ボランティア活動のより一層の充実を図るため、第二次推進計画においては、全市的なネットワーク組織の構築を図りながら進めていく。	22
0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
23	こども家庭課 社会教育課 中央図書館	中学生、高校生のボランティア活動の情報提供や相談の機会の充実(新)	中学生、高校生のボランティア活動の情報提供や相談の機会の充実(新) (連番27と関連)	体験学習等の一環で、中学生が幼稚園や保育園に出向き、読み聞かせを行った。	3	市のモデル地区の取組みの中で、できるだけプログラムとして取り入れてくれるよう促す。	市のモデル地区の取組みの中で、中学生が小学校に出向き、小学生に読み聞かせ等を行った。また、老人施設でも実施した。	4	連番13と連動して、ボランティア活動の場・内容(ヤングアダルト図書に隣接したのなど)等の検討。	推進地区の取組みの中で、中学生が小学校で読み語りを行った。また、福祉施設での読み語りも実施された。	4	推進地区の取組みの中で、中学生が小学校や保育園で読み語りを行った。	協議会の取組みの中で、中学生が小学校や保育園で読み語りを行った。	4	各協議会の取組みの中で、中学生が小学校や保育園で読み聞かせを行った。	協議会の取組みの中で中学生や高校生が保育園での読み聞かせを行った。	4	協議会の取組として定着してきた地区もあることから、今後も各協議会の取組の中に取り入れてもらえるよう継続して促していく。 計画通り進行している。公立保育園における事業として定着しており、読書の大切さが保護者や参加者の中へ浸透していると思われる。今後も継続して実施していきたい。	23
0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

【評価基準】
 5: 計画を上回って進行
 4: 計画通り進行
 3: 計画より遅れているが、目標達成は可能
 2: 計画より大幅に遅れているため、目標達成は困難
 1: 事業未着手

子ども読書活動進行管理表

※各事業の評価は年度ごとの評価になります。

連番	主管課	事業	事業	17年度		18年度		19年度		20年度		21年度		事業総括 (H17年度～H21年度)	連番					
				実施事業	評価	18年度計画/目標値	実施内容	評価	19年度計画/目標値	実施内容	評価	20年度計画/目標値	実施内容			評価	21年度計画/目標値	実施内容	評価	
				計画予算額(千円)		計画予算額(千円)	事業決算額(千円)		計画予算額(千円)	事業決算額(千円)		計画予算額(千円)	事業決算額(千円)				計画予算額(千円)	事業決算額(千円)		
24	こども家庭課	研修会を通じた職員意識向上、保護者への啓発	幼稚園・保育園においては、読書に関する研修会や講演会の参加などを通して職員の意識向上を図るとともに、あらゆる機会に保護者に対して読み聞かせなどの大切さの理解を促します。	地域のボランティアによる読み聞かせの実施。開放保育や地域の子育て支援の場で地域の子育て家庭に絵本についての講座を実施。園児や地域の子育て家庭に貸し出しを実施。10園読書に関する職員研修や講演を実施。年間1回	3	地域のボランティアによる読み聞かせの実施。10園地域の子育て家庭に絵本の講座を実施。10園地域の子育て家庭に絵本の貸し出しを実施。10園読書に関する職員研修や講演を実施。年間1回	地域のボランティアによる読み聞かせの実施。10園開放保育や地域の子育て支援の場で子育て家庭に絵本についての講座を実施。園児、地域の子育て家庭に年齢にあった絵本の選定、貸し出しを実施。研修会を実施し、職員の意識向上を図った	4	地域のボランティアによる読み聞かせの実施。10園地域の子育て家庭に絵本の講座を実施。10園地域の子育て家庭に絵本の貸し出しを実施。10園読書に関する職員研修や講演を実施。	4	地域のボランティアによる読み聞かせの実施。10園地域の子育て家庭に絵本の講座を実施。10園地域の子育て家庭に絵本の貸し出しを実施。10園読書に関する職員研修や講演を実施。年間1回	地域のボランティアによる読み聞かせの実施。10園幼児クラスだけでなく、乳児への読み聞かせを実施し、年齢の幅が広がってきた。 ・地域子育て家庭に絵本の講座を実施。10園 ・公民館等の子育て広場、公民館等の子育て広場で紙芝居・大型絵本の読み聞かせを実施した。 ・地域の子育て家庭に絵本の貸し出しを実施。10園 ・読書に関する職員研修や講座を実施。年間1回 職員意識の向上のため、講師を招き読書に関する職員研修会を実施した。	4	地域のボランティアによる読み聞かせの実施。10園地域の子育て家庭に絵本の講座を実施。10園地域の子育て家庭に絵本の貸し出しを実施。10園読書に関する職員研修や講演を実施。年間1回	地域のボランティアによる読み聞かせ(10園)地域の子育て家庭に絵本の貸し出しを実施(10園)開放保育での絵本読み聞かせの充実 公民館等の子育て広場で紙芝居・大型絵本の読み聞かせを実施した。 育児講座の中で絵本の講座を実施した。	4	計画通り進行している。公立保育園における事業として定着しており、読書の大切さが保護者や参加者の中へ浸透していると思われる。今後も継続して実施していきたい。	24		
25	こども家庭課 各学校	職場体験などによる幼児と中学生との読書交流の機会	職場体験学習などの受け入れにより、幼児と中学生、高校生等との交流の場を持ち、お互いに絵本の読み聞かせの楽しさを共有できる機会を増やします。(新規)	大学生、中学生の職場体験の受け入れ及び、地域との交流事業で絵本の読み聞かせを実施。	4	職場体験受け入れ時や地域との交流事業を通じた絵本の読み聞かせによる交流を図る。	中学生、大学生等の職場体験の受け入れ時に絵本を介した交流を実施。	4	職場体験受け入れ時や地域との交流事業を通じた絵本の読み聞かせによる交流を図る。	4	職場体験受け入れ時や地域との交流事業を通じた絵本の読み聞かせによる交流を図る。	職場体験受け入れ時に、学生手作り絵の読み聞かせ等の交流を実施した。	4	職場体験受け入れ時や地域との交流事業を通じた絵本の読み聞かせによる交流を図る。	職場体験受け入れ時に、学生手作り絵の読み聞かせ等の交流を実施した。	4	計画通り進行している。公立保育園における事業として定着しており、読書の大切さが保護者や参加者の中へ浸透していると思われる。今後も継続して実施していきたい。	25		
26	中央図書館	利用者のニーズに沿った図書の収集基準の見直し	利用者のニーズに合った図書館の資料を収集するために収集基準を見直し、必要に応じて改定を行います。	今年4月に収集基準の改定を行った。	4	---	---	---	---	4	実際の収集を収集基準に照らし合わせ、状況を確認する。	確認済。	4	実際の収集を収集基準に照らし合わせ、状況を確認する。	確認済。	4	平成17年度に大幅な見直しを行った。毎年、基準と実際の収集とを比較し、ずれがないかを確認していく作業が必要となる。	26		
27	中央図書館	中学生向けの図書の充実	中学生に読書の楽しみの機会を提供し読書への関心を深めるために、中学生向け図書の充実を図ります。(連番23と関連)	ヤングアダルトコーナーについて、全館で検討し、各館で方向性を決定した。	4	各館でヤングアダルトコーナーを設置する。	各館でヤングアダルトコーナーを設置した。	4	ヤングアダルトコーナー設置後の利用状況を見て収集の見直しを実施する。	4	各館でヤングアダルトコーナーの利用状況を見ながら、設置図書の追加を順次行った。	各館でヤングアダルトコーナーの利用状況を見ながら、設置図書の追加を順次行った。	4	中学生ボランティアの受入れを検討。ヤングアダルトコーナーの利用拡大に向け、継続して設置図書の充実をはかる。	各館でヤングアダルトコーナーの利用状況を見ながら、設置図書の追加を順次行った。	4	中学生ボランティアの受入れを検討。ヤングアダルトコーナーの利用拡大に向け、継続して設置図書の充実をはかる。	4	読書離れが進みやすい時期であり、成果があらわれにくい。資料の充実を図り、サービスの向上につなげていく。	27
28	中央図書館	外国籍の子どもの読書環境の充実(新)	日本語以外の言語を母国語とする利用者の読書環境を支えるために、外国語の本等を購入し提供します。	日本の絵本の洋書版などを購入した。42冊	4	購入する本を見直す。 ・ひらがな、カタカナ、アルファベットのことが習得の本 ・文章のない絵本 など	日本の絵本の洋書版などを購入した。27冊。雑誌1誌。	3	継続して購入する。	4	購入する言語・割合等、データ整備について検討。	日本の絵本の洋書版などを購入した。14冊	4	継続して購入する。	日本の絵本の洋書版などを購入した。26冊。	4	年度により購入冊数の増減があり、中期的目標を設定し購入計画を見直す。	28		
29	中央図書館	図書館情報網による情報発信機能の充実	インターネットなどによる図書館情報の発信や予約システムの充実など、情報発信機能の充実を図ります。(連番12と関連)	子ども向けホームページの仕様を決定した。平成18年4月13日に公開予定。	4	子ども向けホームページを作成する。	子ども向けホームページを作成した。	4	子ども向けホームページについて、提供する情報の内容について検討する。	4	学校図書館ボランティア向けホームページについて検討する。	学校図書館ボランティア向けホームページを作成した。	4	提供する情報の内容について検討する。	情報内容について、検討を行った。	4	図書館子ども向けホームページに、年間およそ6000回のアクセスがあり、図書館の広報に役立っている。引き続き、内容の充実を図っていく。	29		
30	中央図書館	蔵書データの整備	誰でも必要な本や資料を探し出せるように、蔵書データの整備を図ります。	来年度から、より詳しいデータのある図書のMARCデータに変更することが決定した。	4	古いデータの整備について検討(少しずつデータの修正を行うなど)。	古いデータの整備について検討。データの修正は図書の著者表示より開始。	4	古いデータの整備について、順を決め実施する。	4	古いデータの整備について、一部修正を行った。3件。	古いデータの整備について、修正済。	5	蔵書データの整備は終了。	20年度で終了	5	平成18年度から、詳細な書誌データを導入することで、ホームページからも図書のあらすじを確認したり、件名での検索が可能になったりしたこと、利用者が目的の本を探しやすくなった。	30		
31	中央図書館	探しやすい本の配架・レイアウト等の改善	図書を探しやすく使いやすくするために、図書の配置や案内などを改善します。	次期システムの利用者端末で本の場所が表示される。それにともない、探しやすくするため棚に番号をつけることなどを実施した。	4	平成17年度、18年度に、各館で改善が必要な点、改善方法を検討する。	順次必要な改善を行った。	4	フロア・書架の案内版の修正を検討する。	4	各フロア・書架表示について引き続き検討し、改善をすすめる。	書架の表示を順次、わかりやすく改善した。	4	各フロア・書架表示について引き続き検討し、改善をすすめる。	書架の表示を順次、わかりやすく改善した。	4	書棚に番号を付与したり、見出し板を入れるなどの方法で、本を探しやすくするように配慮した。引き続き、改善をしていく。	31		

- 【評価基準】
- 5：計画を上回って進行
 - 4：計画通り進行
 - 3：計画より遅れているが、目標達成は可能
 - 2：計画より大幅に遅れが生じているため、目標達成は困難
 - 1：事業未着手

子ども読書活動進行管理表

※各事業の評価は年度ごとの評価になります。

連番	主管課	事業	事業	17年度		18年度		19年度		20年度		21年度		事業総括 (H17年度～H21年度)	連番				
				実施事業	評価	18年度計画/目標値	実施内容	評価	19年度計画/目標値	実施内容	評価	20年度計画/目標値	実施内容			評価	21年度計画/目標値	実施内容	評価
				計画予算額(千円)		計画予算額(千円)	事業決算額(千円)		計画予算額(千円)	事業決算額(千円)		計画予算額(千円)	事業決算額(千円)				計画予算額(千円)	事業決算額(千円)	
32	中央図書館	児童サービス専任職員の配置や育成	専任の職員を配置し、研修等により積極的に職員を育成し、知識を深めることで、きめの細かい、より良いサービスの充実をめざします。	各種研修へ参加し、研修内容を他の職員と共有するために資料の回覧を行った。昨年度の日本図書館協会の研修の他の職員へのフィードバックについて、今年度は報告として、資料の回覧を行った。司書の採用要求(継続して)	3	0	0	0	0	0	0	0	0	4	32				
33	中央図書館関係各課	学校図書館、公民館など身近な施設を活用した拠点づくり(新)	身近な図書館づくりとして図書館ではカバーできない地域については、学校図書館や公民館など身近な施設を活用した拠点づくりを検討していくことで、子どもが十分に図書館を活用できるようめざします。(新規) (連番45と関連)	公民館・学校図書館などの状況を把握し、拠点作りの可能性を検討した。	3	0	454	0	480	480	467	2,178	2,174	2,174	4	33			
34	中央図書館関係各課	障害のある子どもへの読書活動の充実	障害のある子どもの読書活動の充実を図るため、バリアフリー化の推進等、施設面についての配慮に努めるとともに、障害者の受入施設などの関連施設との連携を図ります。	関係施設への出前図書館・巡回を実施した。巡回先となる施設を随時検討し、希望施設を募った。対象施設 2ヶ所	4	0	0	0	798	797	700	700	630	620	4	34			
35	中央図書館	図書館の開館時間の延長(新)	図書館の利用機会の拡大を図るため、開館時間の延長に努めます。(新規)	実施方法の計画を立てた。コスト面など、実施に関わる問題を引き続き検討していく。	4	0	0	0	0	0	5,250	5,250	6,300	6,300	4	35			
36	青少年課	子どもの家の図書館の充実(新)	子どもの家における図書館の充実を図ります。(新規)	子どもの家合同運営委員会にて図書館の提供を呼びかけた。	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	36			
37	社会教育課	ボランティアグループとの連携による公民館の図書館の充実(新)	絵本の読み聞かせや子育てなどのボランティアグループと連携し、公民館の図書館の充実を図ります。(新規)	・公民館の図書として、各館15冊程度新書を配布(51万円:16年度予算) これを機に、ボランティアグループの連携を図るとともに、公民館にも本があることをPRした。 図書室の改造(松ヶ丘、金田、大神)、お話し会グループの立ち上げ(大神)、地域文庫の紹介(吉沢)	5	480	480	480	480	240	240	240	240	240	5	37			
38	各学校教育総務課	学校図書館の蔵書数の充実	学校図書館の蔵書数を増やし、魅力ある図書に触れられるよう環境の充実を図ります。	平成17年度は各学校からの予算要求枠とは別枠で、各校一律20万円の予算を再配当し、学校図書館蔵書の蔵書数の充実を図った。なお、学校図書館蔵書の17年度当初予算額は、次のとおり。 小学校費 1,643万円 中学校費 960万円	4	19,610	21,141	25,486	37,247	27,120	17,736	19,898	20,199	3	38				

- 【評価基準】
- 5: 計画を上回って進行
 - 4: 計画通り進行
 - 3: 計画より遅れているが、目標達成は可能
 - 2: 計画より大幅に遅れが生じているため、目標達成は困難
 - 1: 事業未着手

子ども読書活動進行管理表

※各事業の評価は年度ごとの評価になります。

連番	主管課	事業	事業	17年度		18年度		19年度		20年度		21年度		事業総括 (H17年度～H21年度)	連番										
				実施事業	評価	18年度計画/目標値	実施内容	評価	19年度計画/目標値	実施内容	評価	20年度計画/目標値	実施内容			評価	21年度計画/目標値	実施内容	評価						
				計画予算額(千円)		計画予算額(千円)	事業決算額(千円)		計画予算額(千円)	事業決算額(千円)		計画予算額(千円)	事業決算額(千円)				計画予算額(千円)	事業決算額(千円)							
39	各学校指導室	配架の工夫や本の紹介コーナーの設置など学校図書館の整備	子どもの読書意欲を高め、調べ学習等に活用できる学校図書館をめざし、図書の種類や配架の工夫、本の紹介コーナーの設置など、学校図書館の整備を行います。	0	3	小中学校の関係研究会と連携し、配架や本の紹介コーナーの設置の工夫など情報交換を行い、司書教諭や図書担当を中心に学校図書館の整備を行った。	0	4	小中学校の関係研究会と連携し、配架や本の紹介コーナーの設置の工夫など情報交換を行い、各学校の取り組みに生かす。また、子どもたちの学習や読書活動を充実させるため、学校司書が配置された小学校4校を研究モデル校とし、学校図書館の整備を推進した。	0	4	小中学校の関係研究会と連携し、配架や本の紹介コーナーの設置の工夫など情報交換を行い、各学校の取り組みに生かす。また、子どもたちの学習や読書活動を充実させるため、学校司書が配置された小学校4校を研究モデル校とし、学校図書館の整備を推進した。	0	4	小中学校の関係研究会と連携し、配架や本の紹介コーナーの設置の工夫など情報交換を行い、各学校の取り組みに生かす。また、子どもたちの学習や読書活動を充実させるため、学校司書が配置された20校を中心に、学校図書館の整備を推進した。	0	4	小中学校の関係研究会と連携し、配架や本の紹介コーナーの設置の工夫など情報交換を行い、各学校の取り組みに生かす。また、子どもたちの学習や読書活動を充実させるため、学校司書が配置された24校を中心に、学校図書館の整備を推進した。	0	4	子どもの読書意欲を高め、調べ学習等に活用できる学校図書館をめざし、小中学校関係研究会や学校図書館教育委員会や中学校教育研究会や学校図書館等と連携し、配架や本の紹介コーナーの設置の工夫など情報交換を行い、司書教諭や図書担当を中心に学校図書館の整備を行った。また、子どもたちの学習や読書活動を充実させるため、学校司書が配置された24校を中心に、学校図書館の整備を推進した。	39			
40	教職員課	学校図書館担当司書の配置(新)	学校図書館担当司書の配置をめざします。(新規)	0	4	学校司書の配置をめざします。	2,000	4	サン・サンスタッフ(学校司書)を4校に配置しました。	2,000	4	サン・サンスタッフ(学校司書)の配置をめざします。	10,260	4	サン・サンスタッフ(学校司書)を20校に配置しました。	9,931	4	サン・サンスタッフ(学校司書)の配置をめざします。	12,312	4	サン・サンスタッフ(学校司書)を24校に配置しました。	11,867	3	平成21年度までに小学校24校にサン・サンスタッフ(学校司書)を配置した。今後も、全小・中学校への配置に向け、取り組みたい。	40
41	各学校指導室	校内研修や研究会等を通じた教職員の協力体制の確立	司書教諭の学校図書館運営の円滑化を図るため、各学校での校内研修や研究会等を通じ、教職員の協力体制の確立や連携強化を促します。	0	3	司書教諭や図書担当を中心に、校内で協力体制がとれるよう、教職員の啓発に努めた。	0	4	様々な研修を通して情報を提供し、教職員の啓発を図っていく。また、学校司書が配置された学校を研究モデル校とし、円滑な学校図書館運営の研究を進めた。	0	4	司書教諭や図書担当を中心に、校内で協力体制がとれるよう、教職員の啓発に努める。また、学校司書が配置された20校では、円滑な学校図書館運営の研究を進める。	0	4	司書教諭や図書担当を中心に、校内で協力体制がとれるよう、教職員の啓発に努める。また、学校司書が配置された20校を中心に、円滑な学校図書館運営の研究を進めた。	0	4	司書教諭や図書担当を中心に、校内で協力体制がとれるよう、教職員の啓発に努める。また、学校司書が配置された24校を中心に、円滑な学校図書館運営の研究を進めた。	0	4	司書教諭や図書担当を中心に、校内で協力体制がとれるよう、教職員の啓発に努める。また、学校司書が配置された24校を中心に、円滑な学校図書館運営の研究を進めた。	0	4	学校図書館運営の円滑化を図るため、司書教諭や図書担当を中心に、校内で協力体制がとれるよう、教職員の啓発に努めた。また、学校司書が配置された学校を中心として、円滑な学校図書館運営の研究を進めた。	41
42	教育研究所 各学校	蔵書のデータベース化、学校間でのネットワークシステム(新)	学校図書館の蔵書のデータベース化を図り、学校間で蔵書が利用できるシステムづくりを行います。(新規)	0	4	小学校における学校図書館の蔵書のデータベース化の推進及び中学校における学校図書館の蔵書のデータベース化の検討 小学校:5校/28校	0	4	小学校及び中学校における学校図書館の蔵書のデータベース化の推進 小学校:15校/28校 中学校:5校/15校	0	4	小学校及び中学校における学校図書館の蔵書のデータベース化の推進 小学校:20校/28校 中学校:10校/15校	0	5	小学校及び中学校における学校図書館の蔵書のデータベース化の推進 小学校:28校/28校 中学校:15校/15校	0	5	小学校及び中学校における学校図書館の蔵書のデータベース化の推進 小学校:28校/28校 中学校:15校/15校	0	5	第1回学校図書館担当者研修会「図書システムの運用について」「図書システム」の運用支援のための学校訪問回数計66回	0	5	図書システムの運用について研修の機会を設定するとともに、各学校からの個別の質問や不具合についてのサポート体制を作った。また、運用について、担当者の意識を向上させるための研修会を実施した。	42
43	中央図書館	ボランティアグループ等への講師派遣などの支援	子どもの読書環境を支える活動を行っているボランティアグループなどに対して講師派遣などの支援活動を行います。	0	3	問合わせに応じて個々に対応した。中央館、西館、南館は要望がなかったため未実施。北館は実施した。内容:読み聞かせや図書の整理・修理について、職員がボランティアグループへ支援活動を行った。	0	4	読み語り、紙芝居のマニュアル整備。	0	4	職員講師の養成。	0	4	受付方法等の整備。	0	4	本の紹介や読み聞かせの仕方、図書の整理・修理について、職員がボランティアグループへ支援活動を行った。受付については、各協議会ごとに担当職員を決め、その職員が窓口となって行った。	0	4	本の紹介や読み聞かせの仕方、図書の整理・修理について、職員がボランティアグループへ支援活動を行った。受付については、各協議会ごとに担当職員を決め、その職員が窓口となって行った。	0	4	要望に沿い講師派遣を行えるよう、職員の質の向上を図っていく必要がある。	43
44	社会教育課	子どもの読書活動に関する全学的なネットワーク組織の構築(新)	学校や図書館、公民館、ボランティアグループ、書店等による子どもの読書活動に関する全学的なネットワーク組織の構築をめざします。(新規)	0	3	市のモデル地区(神田)の取組をバックアップするとともに、次年度に向け他地区への展開を考察した。また、市民会議のあり方についても検討した。	240	4	市のモデル地区事業を継続し、4ブロックに対し7万円の委託料を支出する。また、情報の共有化を図るため連絡会を2回開催した。	240	4	市内12中学校区に子ども読書活動推進協議会を設置し、各7万円の委託料を支出した。情報交換や連携を深めるため代表者会議を数回開催した。	280	4	市内の全15中学校区に子ども読書活動推進協議会を設置し、各7万円の委託料を支出する。また、情報の共有化を図るため代表者会議を数回開催する。	840	4	市内の全15中学校区に子ども読書活動推進協議会を設置し、各7万円の委託料を支出する。また、活動の支援をより充実させる。	1,022	4	市内の全15中学校区に設置された推進協議会を支出した。(3地区から戻入あり)また、全学的なネットワーク組織の構築向け検討委員会、準備委員会が開催され、22年度に「平塚市子ども読書活動推進ネットワーク運営委員会」の設立が承認された。	1,019	4	市内の全15中学校区に子ども読書活動推進協議会を設立することができた。22年度に設立予定の「平塚市子ども読書活動ネットワーク運営委員会」と連携を図りながら図書ボランティアや関係機関との連携を深めていきたい。	44
45	社会教育課 中央図書館	家庭で不用になった絵本や児童書を有効活用の仕組みづくり(新)	家庭等で不用になった絵本や児童書を寄贈していただき、必要人(施設・団体)に無償で提供し活用できる仕組みづくりをめざします。(新規) (連番9、33(47)と関連)	0	4	公民館だよりを通じて、家庭で不用になった絵本等の回収を行った。	0	3	継続的に絵本の提供者の募集を行う。また、実施公民館の数を増やす。	0	4	継続的に絵本の提供者の募集を行う。また、実施公民館の数を増やす。	0	4	継続的に絵本の提供者の募集を行う。また、実施公民館の数を増やす。	0	4	継続的に絵本の提供者の募集を行う。また、実施公民館の数を増やす。	0	4	公民館だよりを通じて、家庭で不用になった絵本等の回収を行った。	0	4	現状、全館実施には至っていないが、第二次推進計画におけるリサイクルボックス事業を進める中で順次全館実施を図ってきたい。	45

- 【評価基準】
 5: 計画を上回って進行
 4: 計画通り進行
 3: 計画より遅れているが、目標達成は可能
 2: 計画より大幅に遅れているため、目標達成は困難
 1: 事業未着手

子ども読書活動進行管理表

※各事業の評価は年度ごとの評価になります。

連番	主管課	事業	事業	17年度		18年度		19年度		20年度		21年度		事業総括 (H17年度~H21年度)	連番						
				実施事業	評価	18年度計画/目標値	実施内容	評価	19年度計画/目標値	実施内容	評価	20年度計画/目標値	実施内容			評価	21年度計画/目標値	実施内容	評価		
				計画予算額(千円)		計画予算額(千円)	事業決算額(千円)		計画予算額(千円)	事業決算額(千円)		計画予算額(千円)	事業決算額(千円)				計画予算額(千円)	事業決算額(千円)			
46	中央図書館 各学校	図書館と学校図書館との協力事業	学校と図書館との連絡会議を開催し、情報交換、協力をしながら、学校図書館活動の援助や図書の特典・利用ガイダンス・見学・研修会講師派遣などの協力事業を実施します。	関係各課と情報交換を行い、連携のあり方について検討を行った。 子どもに関するテーマの情報提供を行った(子どもの安全に関する本・ビデオテープなど) 協力事業については継続して実施した(一日図書館員、見学、ガイダンス、体験学習等)。	4	事業は継続実施。 (事業内容については連番11と連動)	協力事業は継続して実施した。(一日図書館員、見学、ガイダンス、体験学習等)。 (事業内容については連番11と連動)	3	事業は継続実施。 (事業内容については連番11と連動)	協力事業は継続して実施した。(一日図書館員、見学、ガイダンス、体験学習等)。 (事業内容については連番11と連動)	3	事業は継続実施。 (事業内容については連番11と連動)	協力事業は継続して実施した。(一日図書館員、見学、ガイダンス、体験学習等)。 指導室主催の学校支援講座に参加。講師も行う。 (事業内容については連番11と連動)	4	図書館事業として、事業内容・受付体制等の見直し。	協力事業は継続して実施した。(一日図書館員、見学、ガイダンス、体験学習等)。 指導室主催の学校支援講座に参加。講師も行う。 (事業内容については連番11と連動)	4	図書館と学校との間で、情報交換を行ないながら、連携・協力事業を展開していく必要がある。	46		
			0			0			0			0			0						
47	中央図書館	全ての子どもに対する図書館サービスの提供(新規)	来館する機会の少ない、または来館できない子どもが入所する施設を訪問し、図書の提供を行う機会の充実を図り、すべての子どもに図書館サービスを提供できるように努めます。(新規) (連番10、34(45)と関連)	移動図書館で施設等を巡回し、図書の貸出を実施した。出前図書館も試行的に貸出を行った。 15ヶ所 (小・中学校 8ヶ所) 来館できないサービス施設訪問 2ヶ所 子育て支援センター 出前図書館 4ヶ所 推進会議にて、協議検討の議題にあげた。(3月の課長級の会議で議題に挙げる)	4	出前図書館の実施など、引き続き、図書を提供できる機会を充実を図る。	移動図書館で施設等を巡回し、図書の貸出を実施した。出前図書館も試行的に貸出を行った。 来館できないサービス施設訪問 1ヶ所 子育て支援センター 出前図書館 10ヶ所	4	出前図書館の実施など、引き続き、図書を提供できる機会を充実を図る。	移動図書館車で施設等を巡回し、図書の貸出を実施した。出前図書館の運用ルールを整備し、より柔軟な対応を可能にした。 「出前図書館」登録団体数(児童関連施設のみ) 14団体	4	出前図書館の実施など、引き続き、図書を提供できる機会を充実を図る。	移動図書館で施設等を巡回し、図書の貸出を実施した。出前図書館でも貸出を行った。 「出前図書館」登録団体数(児童関連施設のみ) 14団体	4	出前図書館の実施など、引き続き、図書を提供できる機会を充実を図る。	移動図書館で施設等を巡回し、図書の貸出を実施した。出前図書館でも貸出を行った。 「出前図書館」登録団体数(児童関連施設のみ) 14団体	4	出前図書館は、入園している幼児が本と出合う場として有効であるが、駐車場が確保できないなどの理由で訪問できない園もあるため、別の方法でのサービスの検討も必要である。	47		
			5,131			6,286			6,040			5,688			4,960			5,081			5,089
48	社会教育課 中央図書館	特別おはなし会や展示などの各種行事の開催	読書の楽しさを知ってもらうとともに、「子ども読書の日」のPRのため、「子ども読書の日」を記念し、特別おはなし会や展示などの各種行事を開催します。	「こどもきいぶ」の配布をするとともに、「アンデルセンの本」の記念展示や中央館、西館にて記念映画会を開催した。	4	「こどもきいぶ」はファンタジーの本を特集する。それとともに、各館でファンタジーの本を展示する。また、エリック・カール作「はらぺこあおむし」の絵本から4場面選び、市内4館で1場面ずつ大型制作にして展示する。制作については、おはなし会で子どもたちに参加してもらい、絵本作家きむらゆういち氏を講師に招き、講演会を実施する。	子ども読書の記念事業として、文化ゾーンを会場に、関係各課やボランティアグループとの連携を図り、各種イベントを大規模に開催する。図書館の事業は、継続して実施。	「こどもきいぶ」は冒険の本を特集した。それとともに、各館で特集の本を展示した。美術館の「絵で読む宮澤賢治展」開催時に、関連の絵本展示を行った。ボランティアによるお話を美術館内で行った。	4	子ども読書の記念事業として、文化ゾーンを会場に、関係各課やボランティアグループとの連携を図り、各種イベントを大規模に開催する。図書館の事業は、継続実施。	「こどもきいぶ」は自然に関する本を特集した。それとともに各館で特集の本を展示した。美術館の「田島征三展」開催時に関連の絵本展示を行った。	4	子ども読書の記念事業として、文化ゾーンを会場に、関係各課やボランティアグループとの連携を図り、各種イベントを大規模に開催する。図書館の事業は、継続実施。	美術館の「わたしがいらいわさきちろ展」開催時に関連の絵本展示を行い、おはなし会にていわさきちろの絵本を取り上げた。また、子ども読書活動推進フォーラム実施前後でよしながこうたくの絵本を取り上げた。	4	読書推進フォーラムや美術館で取り上げられた資料に対しては、児童の関心も高い。さらにおはなし会で紹介することにより、多くの利用があった。	48				
			5			155			260			5			5			5			5
49	社会教育課 中央図書館	「子どもの読書推進月間」の設定(新規)	「子どもの読書推進月間」を設定し、関係部署の連携による読書に関わる講演会の実施など各種イベントを集中して実施することにより、子どもの読書の必要性を啓発します。(新規)	・推進会議にて、「子どもの読書推進月間」の設定等について協議検討したが、次年度以降に継続協議することとなった。	3	継続協議	「子ども読書の日」に近い5月に絵本作家きむらゆういち氏を講師に招き、講演会を実施した。	3	継続協議	11月に絵本作家の「あきやまただし」を招いて、絵本ライブを開催した。	3	継続協議	各中学校区推進協議会において、特定の期間ではなく年間を通して読書活動推進の取り組みを行った。	4	各中学校区協議会において、年間を通して子ども読書活動推進の取り組みを促す。	各中学校区推進協議会において、特定の期間ではなく年間を通して読書活動推進の取り組みを行った。	4	各中学校区推進協議会において、特定の期間ではなく年間を通して読書活動推進の取り組みが実施されていることから、あえて事業として位置付ける必要がなくなった。	49		
			0			0			400			0			0			0			0

【評価基準】
 5：計画を上回って進行
 4：計画通り進行
 3：計画より遅れているが、目標達成は可能
 2：計画より大幅に遅れが生じているため、目標達成は困難
 1：事業未着手

子ども読書活動進行管理表

※各事業の評価は年度ごとの評価になります。

連番	主管課	事業	事業	17年度		18年度		19年度		20年度		21年度		事業総括 (H17年度～H21年度)	連番				
				実施事業	評価	18年度計画/目標値	実施内容	19年度計画/目標値	実施内容	20年度計画/目標値	実施内容	21年度計画/目標値	実施内容			評価			
				計画予算額(千円)		計画予算額(千円)	事業決算額(千円)	計画予算額(千円)	事業決算額(千円)	計画予算額(千円)	事業決算額(千円)	計画予算額(千円)	事業決算額(千円)						
50	社会教育課 中央図書館	子ども向け読書情報のホームページの作成(新)	現在発行している機関紙を充実させるとともに、新刊書やおすすすめ本の案内、ボランティア養成講座等の情報をまとめた、子ども向け読書情報のホームページを作成し、積極的に情報発信します。(新規)	子ども向けホームページの仕様を決定した。平成18年4月13日に公開予定(No.29再掲)	3	情報の更新及び改善	子ども向けホームページを4月に公開した。(NO29と同様)	4	情報の更新及び改善	子ども向けリンク集を作成した。(NO29と同様)	4	情報の更新及び改善	学校図書館ボランティア向けホームページを作成した。	4	情報の更新及び改善	情報の更新を行った。	4	平成18年度に子ども向け、平成20年度に学校図書館ボランティア向けのページをそれぞれ作成した。第二次推進計画においては、事業No17「図書館情報網による情報発信機能の充実」において更新と改善を図りたい。	50
				0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

評価基準	17年度		18年度		19年度		20年度		21年度	
	件数	割合(%)								
5:計画を上回って進行	1	2.0	1	2.0	1	2.0	4	8.0	3	6.0
4:計画通り進行	17	34.0	18	36.0	19	38.0	22	44.0	22	44.0
3:計画より遅れているが、目標達成は可能	9	18.0	7	14.0	6	12.0	1	2.0	2	4.0
2:計画より大幅に遅れが生じているため、目標達成は困難	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
1:事業未着手	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

- 【評価基準】
- 5:計画を上回って進行
 - 4:計画通り進行
 - 3:計画より遅れているが、目標達成は可能
 - 2:計画より大幅に遅れが生じているため、目標達成は困難
 - 1:事業未着手